9784063144451
1929979005436
雑誌 55723-45
ISBN978-4-06-314445-1
C9979 ¥543E (0)
アフタヌーンKC
講談社
定価：本体543円（税別）

若い夫婦が惨殺され、幼い少女だけ残された。
心の傷は言葉を奪い、
それでも少女は
戦いの世界で
生きることを決めた。
その世界とは将棋、少女は優しい家庭で育ち、
中学生にしてプロになる。
しかし、女流棋士として頭角を現した所音の周辺に
起こり始めた不穏な出来事
両親を奪った「あの日の事件」が、
再び所音を捕まえるのか……!!

第二十七手 pass 「表裏二体」
第二十八手 pass 「心の盾と矛」
第二十九手 pass 「揺れる前」
第三十手 pass 「時の答え」
第三十一手 pass 「挑戦の譜」
第三十二手 pass 「揺達」

しおんの王
The Flowers of Hard Blood.
Story : KATORI MASARU Art : ANDO JIRO
AFTERNOON KC

Cover Design Nishi

AFTERNOON
KC445

The Flowers of Hard Blood.

しおんの王

5

原作 かとりまさる
漫画 安藤慈朗

講談社

アフタヌーンKC　講談社

しおんの王

The Flowers of Hard Blood.

原作 かとりまさる

漫画 安藤慈朗

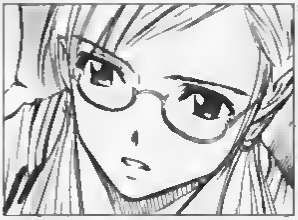
Story・KATORI MASARU×Art：ANDO JIRO

AFTERNOON KC

登場人物紹介

安岡紫音（やすおかしおん）

女流棋士。幼い頃に両親を殺害されたショックで言葉を失う。会話はすべて筆談。14歳。



斉藤歩（さいとうあゆみ）

病弱の母のため、性別を偽り女流棋士になる。高校を中退。

二階堂沙織（にかいどうさおり）

女流初段。現名人・羽仁と兄弟弟子。裕福な家庭に育った18歳。

羽仁真（はにまこと）

名人。

羽仁悟（はにさとる）

名人の弟。新進の実実家。

安岡夫妻（やすおかふさい）

8年前、両親を失った紫音を引き取る。現在では実の親子同然。

幼くして両親を亡くした紫音は、将棋のプロ棋士の家庭に引き取られ、美しい少女に育った。両親が惨殺された心の傷を抱えながらも、義父の影響か、紫音も将棋士になる道を選ぶが、将棋界で2人の女流棋士と出会う。

斉藤歩、二階堂沙織。

育った環境も、将棋の個性も違う3人の女流棋士は、好敵手として友人として、引きつけられ合う。

名人の発案で始まった将棋界でも類を見ない大規模なトーナメントでも、3人は順調に勝ち進み、揃って予選リーグ最終戦へ進出した！

※この物語はフィクションです。
実在の人物・団体・名称等とはいっさい関係ありません。

第二十五手
捨て駒。

居飛車穴熊にして守りを固めるつもりだったが……
それも許してもらえなかった
これが一線級の棋士の実力か
4四金

落ち着きのある一手だ
俺を格下だとナメていない……
安岡八段は本気で指してくれてる――！
――この局面
紫音なら▲8五香と攻めの準備をしてくるだろう
この斉藤という娘
ここまでの印象では紫音より荒削り――いや……良く言えば大胆か
さあ……次はどんな手を指す？

どうせこのままじゃ
ジワジワと
押し込まれるだけだ
多少 無茶な
手を指しても
乱戦に持ち込むか…
ちょっと
失礼するよ
!?
……
どうなってます!?
おお
久谷君

三人三様……
それぞれの試練てとこかな
安岡・斉藤戦はさすがに師匠(しょう)ペースか
紫音があまり 良くないですね
序盤は紫音ちゃんが優勢だったんだけど
途中 悟(さとる)さんに▲6八角と好手が出てねえ
そこから少し調子が上がらないのかな……
安岡先生も心配だったのか珍しく控え室に顔を出してたよ
ああ見えてかなりの親バカですから
アハハ
あ……
……

……ふむ
痛ーーーー！
おい久谷！
……はい？
……紫雲は少し落ち着いてきたかな？

あの…斉藤という娘について少し聞かせてくれないか

……俺も詳しくは知らないんですよ
紫雲も言わないし…

ただ
家の事情か何かで
将棋に集中できない
環境みたいです
それに……
神園先生の
弟子ってだけで
色眼鏡で見る人も
いて……
……
無理な攻めを
しても崩れる
ような相手じゃ
ないだろうが
でも
ここはあえて
安岡八段が
それを嫌って
攻めにくれば
あるいは……
……
とすれば
相手の
次の一手は
おそらく
△4九飛車！
――!?
将棋の世界に
入ってから
こんなに
落ち着いて
一手を指した事が
あったかな……
いや
まったく
しようが
ないな
娘が何歳に
なっても
父親って
奴は……
ハハハ

3八歩――！
面白い

この娘には
紫音と違った
才能がある
攻め合いになれば
まだチャンスは
あるはずだ――
次の手はきっと
□4九飛車
勝負はその後！
パチ
!!
馬
紫

△3六成銀
……！
駒を引いて受けるのか……

うーん
さすが
安岡先生！
実に視やかな
駒さばき
だねえ
だけど
若手相手に
少し慎重すぎ
ませんか？
斉藤さんは
女流の中では
強引な指し手で
勝つ事が
多かったんだ
それが通用しない
落ち着いた相手と
どういう将棋を
指すのか——
じゃあ
師匠は
それを教える
ために……？
……
——これが
俺の将棋の
乱暴さ……

もっと 強く
なりたい！
でも……
どうすれば
今の俺の将棋は
カラッポだ……
足りないもの
だらけだ！
もっともっと
修行して——
だけど……
母さん……

斉藤さん

詳しい事は
分からないが
事情があって
なかなか協会にも
研究に来られない
そうだね
……
失礼とは思ったが
久谷と古田さんに
君の事を少し
聞かせてもらったよ
師匠の
神園先生も
体調を崩されて
いるし……
良ければ
うちの
研究会に
来ないか？

もっとたくさん
強い人と
指しなさい
経験を積んで
勉強するんだ
君には
才能がある……
きっといい棋士に
なれるよ
安岡先生
……
歩兵
歩兵
王将

……まだ
はっきりと
私が悪い
わけじゃない
王将
金将
なのに……
——次の一手が
指せない！
羽仁兄いも
練習将棋の時とは
まるで違う……
これが
実戦の
プレッシャー
？
正面から
ぶつかっても
潰されるだけ

それなら
――!
9七角!?
定跡では
不利とされてる
手だけど
あえて 羽仁兄いも
指した事のない手順に
持ち込めれば……!
……

9七角……
沙織さん 正攻法じゃ
無理と踏んだか
安岡・斉藤戦は
決まりかな
そうですね
斉藤さんも
よく指してた
けど
師匠の
勝ちですね
二階堂さんも……
名人が相手じゃ
厳しいか
いや！
沙織さんは
まだこれから
羽仁名人の
対局は
少し変わった形に
なってるな
ん？

中盤で
二階堂さんが
▲9七角と
指したんですよ
そこから
少し
乱戦ぎみに……
ほう……
二階堂さんが
そんな手を
一見無謀ですけど
きっと
彼女なりの
勝負手
なんです！
……だろうな
だが
本当の勝負は
ここからだろう
さあ……
どうする
沙織？
まだ
攻める手は
いくらでも
あるぞ

パチ
角行
▲7三歩成
……か
まだ
私の攻めのほうが
早いはず
△6六角と
出られても
▲3九王で
十分……
その後
どう攻める？
▲5四桂？
▲6七金？
……沙織

また
そうやって
髪をかき上げて
いる……
子供の頃から
変わらない
答えを
知りたい時の
沙織の癖――
ねえねえ
教えて
次は
どう指すの？
羽仁のお兄ちゃん
ここはどう指せば
いいの？
ねえ？
ねえ
教えて！
――だがな
沙織……

答えは……
自分で生み出すものだ――

亀
海
9四角——!?

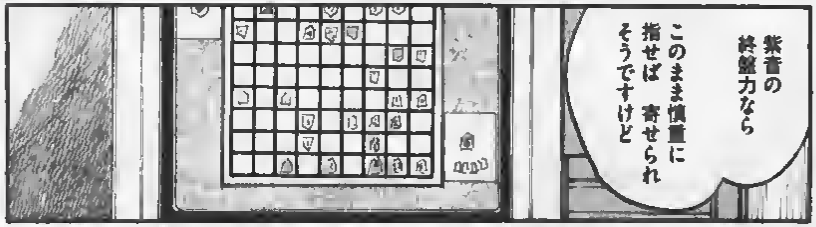
凄い手ですね……
ああ
二階堂さん……
いや 名人以外
誰も読んで
いなかった手だ
でも！
この角……
タダで取られ
ちゃいませんか？
へ？
……だから
凄いんです
僕……何か
間違ってます？
あれ？
あ……
あれ？

一見すれば
角のタダ捨て
……
しかし
先手が▲9四龍と
角を取る一手の間
……
その瞬間に
わずかだけれど
二階堂さんの攻めに
遅れが出る……
たとえ　ここで
相手に角を渡しても
その一瞬の遅れが
この対局の勝敗を
決める――
それが見えて
いたんですよ
羽仁名人に
だけは……

……
こんな手が
……
私には
手の届かない
世界……
これが
名人の将棋
悔しいか？
沙織……
悔しいなら
顔を上げろ

対局は　まだ
終わっていない
盤を見ろ
局面を見ろ
次の一手……
その次の一手を
考えるんだ
この一手の重みが
分かるなら……
沙織は
これからも
指し続けられる
はずだ
羽仁……
名人……

弱ったなあ……
このまま三人とも負けじゃ尻すぼみ
話題性もガタ落ちですよお
紫音はだいぶ良くなってませんか？


紫音の終盤力なら
このまま慎重に指せば　寄せられそうですけど

悟さんの▲6八角はたまたま良い手だったんですかねえ……
ちょっと肩すかしだったな
それとも紫音ちゃんが上手く指したのか

紫音の将棋がどこかいつもと違うようで気になるんだが……

個性が出てきたって事じゃないですか？
今が伸び盛りですし

いや……
もっと
何か――
無理やり相手に
ひきずり出されている
ような……
だけど
なんだろう？
こんな気持ち　初めてだわ
……よし
これなら
きっと勝てる

一刻も早く
この人との将棋を
終わらせたいの
パチ

△6六角打
ですか……
さすが
終盤には定評のある
紫音さんだ
ここは▲2八王と
するしかないかな
パチ

このあと△7九成桂と
銀を取っておけば
安全なはず……
銀将
でも
残念だなあ
紫音とは
もっと長く
指していたかった
のに——

……
ゾクッ…
△4九馬？
早い！
指し急ぎすぎだ
▲5二成桂でもいったん手を戻せばまだこちらが有利
大丈夫……この手でも十分勝てるはず！
▲5二成桂なら△2六香
フッ……

……紫音は
素直な子だね
この対局を早く
終わらせたかった
んだろ？
だから
いつもは
指さないような
手を指した
素直で
可愛くて
どんな時でも
一生懸命……
皆に
愛される
紫音ちゃん……
だけど
たった一人に
憎まれたら
どうなるか――
教えて
あげるよ……

▲5六飛車!!
……
十字飛車――!
やられた……
読んでいなかった

第二十五話 終わり

対局CHECK!

棋譜・解説　かとりまさる

（第1図は △4四金まで）

（第2図は ▲7三歩成まで）

紫音ら3人の若き女流棋士も、それぞれの大一番！

アイススケートで優勝候補が緊張のあまり転倒。何千回と同じ技を練習しているはずなのに本番で失敗するのは、緊張で体がいつもと違い集中できない、もしくは力みすぎるからなんでしょうネ。

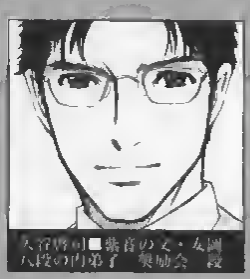
第1図は、歩と安間の対局。居飛車穴熊にするつもりが中盤での安間の形に歩が作戦を変更します。力量の差からいってもこのあたりで優位に立っていない歩は、相手のミスを待つしかありません。歩はしぶしぶ▲3八歩と打ちます。これ以外の指し手ももちろんありますが、安間はミスを誘うようなその手に感心します。

△同成銀なら▲2六角で逆転します。△2九飛打も▲6三香、もしくは▲3七歩で勝負に持ち込めます。第1図で落ち着いて▲3八歩と指した歩に安間は歩の底力を見せられた気がしたのです。

「あきらめず、相手のミスを誘うのも勝負師」。実力もさることながら、ミスを誘える力を持つ人間は大物の器であり勝負の女神が側にいてくれるのでしょう。

さて、羽仁名人に挑戦した沙織は、定跡では今まで誰も指したことのない戦形をとり、羽仁に挑みます。長時間の将棋でない場合、研究にない戦形は相手に時間を使わせる一つの手段と考えたからです。沙織の作戦を経く見ていた羽仁は、沙織の指し手をみて感心します。

「俺を少しは考えさせるようになったか……」と。沙織も、羽仁名人が小考しているのを見て良い勝負だと感じたのですが、第2図の局面をご覧下さい。沙織は△6六角等の手を読んでいたのですが、羽仁名人の手にビックリします。コンピュータ対戦で慣れている人には思いつかない発想でしょうが、羽仁名人は第2図で沙織の▲7三歩成に△9四角と指しました。逃げるのではなく捨てるのが名人、なのです。2二角が壁になっているのでこういう一手は攻防の奇手と言えるのでしょう。あなたはこんな手が指せますか？


■葉音の父・友岡
興励会　殺
久津摩の
八段の門弟了

第二十六手

心の勝負。

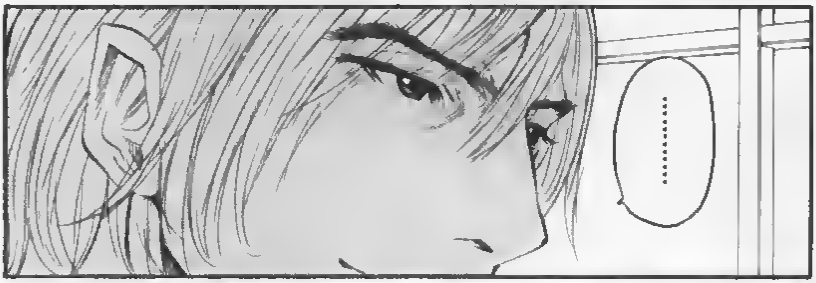
歩手をこまねいていると「詰み」(決着)になってしまう状態。「詰み」の一手前の状態であることから、「一手スキ」とも呼ばれる。

まだ
戦える！
ううぅ～～～
やっぱり
紫音さんも
駄目そう
ですか？
▲5三飛
とされても
詰めろ
ではない
ですよね？
ああ……
確かに
そうだが……

銀将
ここで
5二成桂――!?
こちらの筋は
捨てていたのに……
グッ!!
だから
言ったろ?
君は素直
過ぎるのさ……
紫苔さん
まんまと裏を
かかれてますね
……

紫音の将棋の持ち味は素直さと粘り
だがそれは同時にモロさにもなるんだ
モロさ？
そして悟さんは——
それに気づいている……
悟……
今のお前は何を考え将棋を指しているんだ？

……▲5三飛成がないのならこちらの攻めも変わってくるわ……
いいえ……まだあるのかも……
分からない……！


……

△2六香から
▲同銀に
△3八金～△2八金
でも――

1枚
足りない!!
こちらは必死に
守ってる間に
ずいぶん持ち駒が
増えたなあ
おやおや
紫音さんは
歩切れですか?
これなら僕にでも
寄せられるかな?

△4九馬が
敗着だったの？
一瞬の心の乱れ……
いいえ――
それが
この人の強さ
そして……
あたしの
弱さ……
紫音……
相手を憎まなければ
勝てない将棋も
あるんだよ
今のお前には
分からなくても
いつかその意味を
知る日が来る……
……

お父さん……
憎まなければ勝てないの？
それでもあたしは憎しみで将棋を指したくない……
そんな将棋からは何も生まれない
……完全に逆転されましたね
えっ……ええ～～～！
紫音……これがお前の選んだ道か

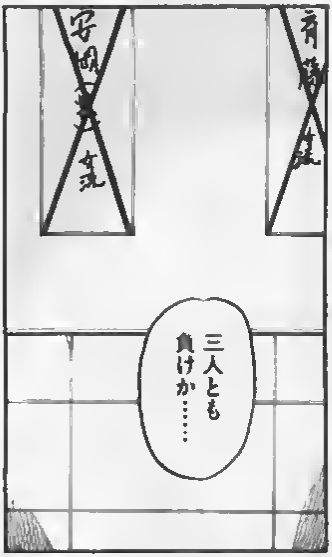
ハゲッ
3四角
負けた……

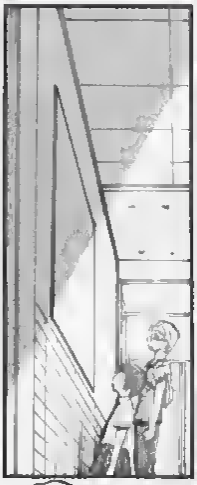
……これで
お終いだ
紫音なら
ここで投了だ
さあ
見せておくれ
きれいな
悔し涙を……
負けました
ありがとう
さあ！
その可愛い
泣き顔を――！

なぜだ？
負けたのになぜ笑っていられる
負けました
ありがとうございました。
なぜ……

おお～～～
これで三人娘全滅……
この棋戦の広告価値もガタ落ちですよ～～～
これで三人が本戦に行くには
夕方からの敗者復活戦で勝ち残るしかないですね……
へ？
"敗者復活戦"？何ですかそれ……
それに勝てば各グループの上位からあと一人ずつ本戦に上がれるんです
この人ほんとに知らなかったのか
え！そうなんですか!?

もちろんそんなに簡単じゃないですよむしろ厳しいです
対局は今日の夕方からだし各組上位6名参加だからシードされる紫音さん達でも二局続けて勝たないと
うう――……
だけど持ち時間10分……切れたらそこからは30秒将棋ですよね
こんな早指しの連続なら体力のある若い棋士が有利じゃないですか？
！
そうだな紫音も早指しは久谷と指し慣れているし……
じゃあやっぱり勝てそうなんですね！
体力が要るならさっそく差し入れにケーキでも買って来ます!!
勝てるかどうかは分からんが……
でも有利なのは本当だろう
斉藤さんの将棋も実に早指し向きだ
心配なのは二階堂さんか……


二人とも
負けか……



え？

うん……
でも
今日は負けて
良かったのかも
しれない
？

みんな
残念でしたね…

紫音！

大丈夫か 紫音?
やあ
大丈夫! 負けた人が 強くなれるんです!!
お?
いい事 言うな…… 紫音
むかし おじさんが 言ってました
ん? そうだっけか
痛ーー
……
「だから俺は 若い時 たくさん 負けたんだ!」って。
アハハ……
だけどな 若いうちは 負けた将棋のほうが 学ぶ事が多い これは 本当だぞ

私も そう 思います
斉藤さん……
なんだか雰囲気が変わったな

研究会のほうはいつでも都合の良い時に連絡しなさい
緊急にメールでもいいよ
?
はいありがとうございます!

斉藤さんがなかなか時間をとれないと聞いたんでうちの研究会に誘ったんだよ
よろしく
そういえば使ってないノートパソコンがあったな……

少し古いけど
棋譜を
調べるくらい
できるだろう
良かったら
使うといい
あの……！
なぜ……
そんなに親切にして
いただけるん
でしょう……
同情
ですか？
君は
若くて
才能がある
それに
紫吉の友達だ
そして——
……そうだな

斉藤さんは
神園九段の
弟子だからね
？
――8年前
紫音を養子として
ひきとる時
俺は周り中から
反対されていたんだ
勝負の辛さから
逃げたいだけじゃ
ないか
だいたいろくに
将棋で稼げないのに
子供なんか育てられる
のか……ってね
まあ 実際
金もなかったし
今考えると
もっともなんだが
……

ほれ
神園……
先生……
辛気くせえ顔
しやがって……
そんなのに
ウロウロされると
目ざわりなんだよ
封筒の上からでも
かなりの金額が
入っているのが
分かった……
神園先生
これは――！
勘違いするな
女房からだ！
棋士がよお……

自分で決めた一手を信じないでどうする？
……

……あの時の一言がなかったら
今こうして紫音は君と将棋を指していなかったかもしれない……
まあなんて言うか――
恩返し……かな

あ……
夕方からの
敗者復活戦に
備えて　たっぷり
栄養とるぞ！
ほら斉藤さんも
えっ
でも……
!?
これは……
紫音の!!

……
勝ったのは俺だよな……
なのに――

ほら……
傷つけば
ちゃんと
痛いじゃないか

なあ……
そうだよな？
一美……

イタズラにしても
ひどすぎますよ！
とりあえず
私の靴を
使って下さい
……
デカ
く……
靴ヒモ
買って
来ます……
紫音さん！
何かあったん
ですか？
ああ……
良かった
どこも
怪我してる
わけじゃないん
ですね？
？

棋譜が
提出されないので
紫音さんと悟さんの
対局部屋に
行ってみたら
これが…
それ……
血ですよね？
……

!?
その靴は？
紫音の
ですよ
対局中に
誰かが切ったん
でしょう……
陰湿ですよね

これは
ひどい……
事務局の人間で
手分けして
犯人を――
いや
まだ
対局もあります……
今日の所はこれ以上
事を大きく
しないで下さい
しかし
対局って……
このあと紫音さん
指せますか？
グッ
平気です
指せます！

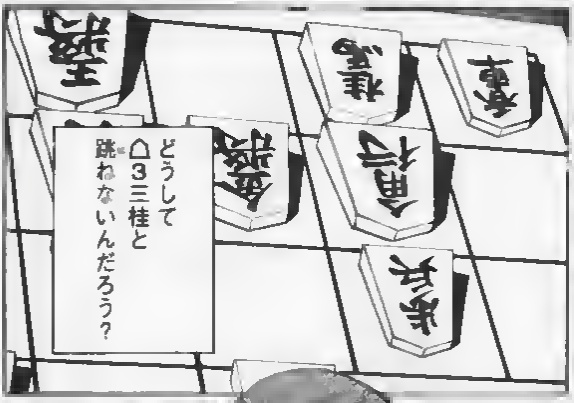
同日午後五時から
行われた各グループの
敗者復活戦――
紫音　歩　沙織
ともに
一局目を勝ち
本戦入りをかけた
二局目へと進んだ

負けました！
ありがとう
ございました
まだまだイケると
思っていたが
やはり早指しは
若い人には
かなわんなあ……
秒読み聞くと
血圧上がるわ
ううむ……

斉藤さんと言ったっけ？
……はい
ちょっと危なっかしいが君の将棋は面白い
本戦でも暴れてくれよ
菅沢先生
……
はい！
斉藤　歩
本戦入り――
将
玉将
バチィッ
!?

△7三桂……

どうして△3三桂と跳ねないんだろう？



▲2五銀!?

しまった……

一番単純な筋を軽視しすぎたか

……

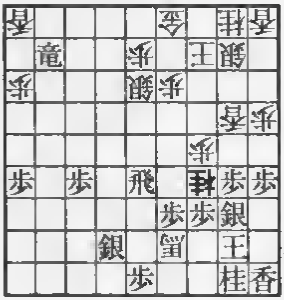
この娘の将棋は
本当に素直で
まっすぐだ
俺達のような
スレた棋士には
気味が悪いほど……
それが
こちらの
ミスを誘う
しかし……
その素直さだけで
本当にこの後も
勝ち続けられる
のか？
あまりに
まっすぐすぎて
いつかポキリと
折れてしまう日が――
うっ……！

安岡紫音
本戦進出
……
この一手の重みが
分かるなら
沙織は
指し続けられる
はずだ――
第二十六話 終わり

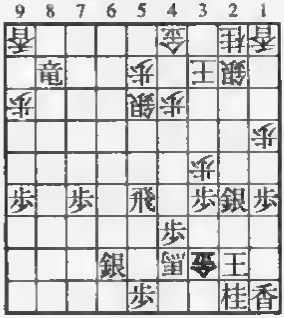
対局CHECK!

棋譜・解説　かとりまさる

（第1図は △3六桂まで）



（第2図は △3八金まで）



名暗分ける3人の若き女流棋士。本戦出場は!?

和撲と同じで、将棋は礼に始まり礼に終わるから、勝者は微笑(ほほえ)まず敗者は勝者に気を遣うという、なんとも不思議なしきたりがあります。

外国人みたいに「イエスッ！」と万歳して喜ぶ人をいつか見てみたい気もしますが。

アマチュアですが、才能のある羽仁悟に負けてしまった紫音。なーんだ、紫音ちゃんって弱いんだ、なんて思わないで下さいネ。最近のアマの方は、強い人はメチャクチャ強いんです。昔と違いネットで対局もできるし、情報が流れるのも早いですから、ネ。

さて、第1図をご覧下さい。

紫音が「1枚足りない」と思った局面です。△3六桂と着手する前に気がつきましたが、後戻りはできない、と思ったのです。

この局面、紫音の持ち駒に歩(ふ)が一つでもあれば、かなり展開が違ってました。

第1図から△3六桂に▲同歩△2六香▲同歳△3八金（第2図）と進みます。

悟は当然、第2図から▲2七王と指します。

紫音は、この局面から△2六馬と指し、▲同王に△2五歩と指したかったのですが、▲同王で△3三桂と指しても歩がないので、悟の王が詰まないことに気がついたのです。

ちょっとだけ将棋を知ってる人は、飛車や角が取れると喜びますが、プロにとっては歩も同じぐらい価値があるものなんです。

歩のない将棋は負け将棋、と言いますからネ。駒を無駄にしないことは上達への道です。

紫音はもちろん沙織や歩の気持ちを深く知るためにも、ぜひ皆さんも将棋の実戦をしてみてはいかが？

小林■■■■の女流トーナメン
トのスポンサー・携帯電話会
社デジタルフォン社社員

第二十七手
表裏一体。

一手の重み……

羽仁兄(はににい)いは――
今の私には
それさえ
分からないと？

さきほどの
名人との一局
……
……はい
なかなか
立派なもの
でしたなあ
いえ
そんな……
ところで
二階堂(にかいどう)さん
あなた……

名人とは
もう寝たのかな?
え!?
いっ! いえ
そんなまさか
わっ……
私達は
ただの
兄妹弟子で
そのそういう
ねる!?
とか……
そんな
おや……
そうなんですか
対局を見て
あたしゃ
てっきり……
あの……
京戸九段
ん?

どうして
さっきの対局を
ご覧になって
私と羽仁名人が
その……そういう
関係だと……？
そりゃあ
あんた……
そうでもなけりゃ
なかなか
指せません
あの
凸9四角は――
あなたは
名人に愛されて
ますなあ
そんな
一手でしたね
パチッ
将棋
……
だからこそ
その厳しさが
あなたを
奮い起たせる……

……たしかに
……あの時の私は
負ける事しか
考えていなかった
もう
この将棋は
終わった――
どんな手を
指しても
羽仁兄いには
勝てっこない
だから
負けるのが
当然なんだ……
でも……
彼は言った――

「指し続けろ」
……と
ほお……
目に生気が
戻ったね

……今は
追いつけ
なくても
指し続けて
指し続けて……
いつかは近づき
そして……
いつかは――
そのためにも
本戦に出たい！
沙織さん……

今の一手は気合が違ったな
どうだ？
あ……師匠
二階堂さんの最後の相手は京戸九段か……
難しい将棋ではないんですけど……序盤はちょっと……
元気なかったですね沙織さん
駒を取り戻してはいるんですが
ただ……もうすぐ秒読みです
……

新しい
靴を買って
ちょっと
寄り道して
お喋りをな
紫苑の
対局のあと
どこ行ってたん
ですか？
ん？
……はあ
古い棋風だと
思ったけど
さすがに巧い……
それに
もう時間が！

こんな娘達が伸びてくるなら
羽仁名人がこの棋戦を開いた意味もある
いい目をしているねえ
だけど勝負は別……
老いぼれの意地でも見せておくかな

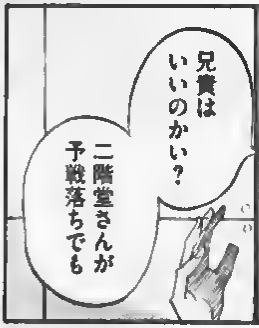
ああっ
その手じゃ……！
パチッ…
ハッ！
……△5五銀
時間に
追われたとは
言え……
うかつだった
こちらを先に
受けなくては
いけなかったんだ
……

これ取っちゃ駄目なんですか？
取ったら△5六桂で王手飛車です……！
あ…そっか
……
……負けました
はいどうも
二階堂沙織――
オープントーナメント予選敗退……

……そうですか
分かりました
……
わざわざ
ありがとう
ございます
兄貴がこんな
洒落た隠れ家を
持ってるとはね
俺だって
独りになりたい
時もある
やたらと他人に
教えるなよ
分かってるって
で…どうだった
お嬢ちゃん達は
？

まあ……お前ら
スポンサーとしても
上出来だろ？

安岡 斉藤の
二人は勝ち上がって
本戦入り
沙織は
京戸九段に
負けたよ


兄貴は
いいのかい？
二階堂さんが
予戦落ちでも

自分だけ本戦で
戦えない……
さぞ悔しいだろうな
だがそれでいい

今の自分に
足りない物……
沙織がそれに
気づくには
この経験が
必要だったのさ

それであんなに
厳しい一手を
指したの？
二階堂さんには
ずいぶん
やさしいんだな
兄貴らしくもない

まあ 確かに
彼女——

どこか
母さんに
似てるから……
……

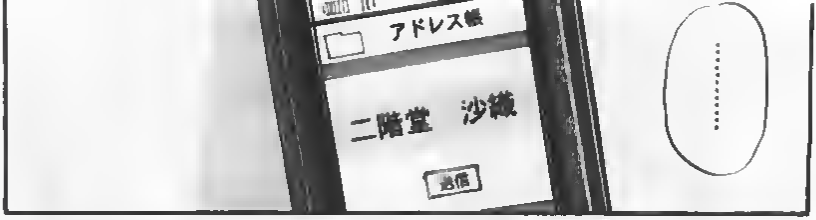
フン…
…そんな事
関係あるかよ

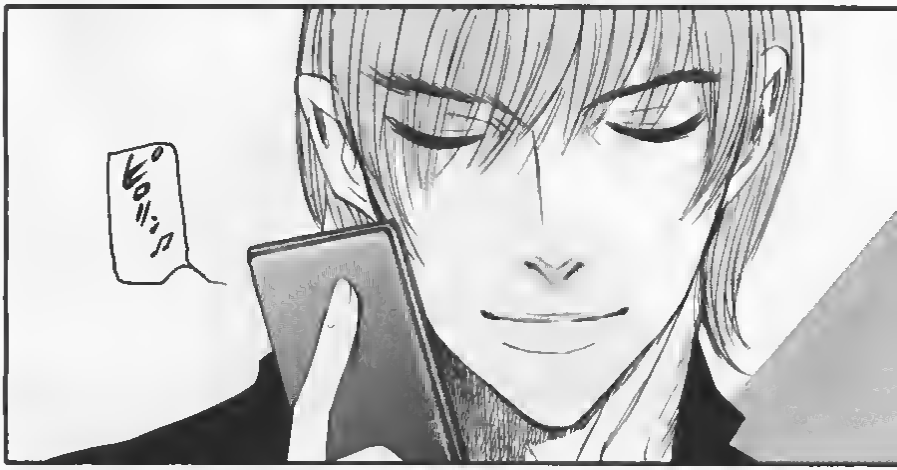
俺は
あの三人の
実力を見せて
女流棋士は
弱いという
世間のイメージを
変えたいだけだ

お前らは
勝手に
宣伝にでも
使えばいい

ふうん……

ちょっと
携帯借りるよ
自分のは
車に置いて
来ちゃってさ
今夜中に
仕事の指示を
社の連中に出して
おきたいんだ
そんなに
稼いでどうする
今度は
協会ごと
買うか？
俺が
儲けてるから
兄貴の野望にも
手を貸せるんだぜ
野望なんて
あるかよ
強い者が
上に立つ……
俺は当たり前の
境界にしたいだけだ


アドレス帳
二階堂　沙織
通信
……


ピロリ〜ン♪

おい……
悟
お前——

サンキュ
ビジネスの話だからメールの履歴は消したよ

安岡先生のご家族におかしな事をしてないだろうな？

知り合いが
例の事件の捜査に
役立てばって
色々調べて
くれたんだぜ
俺だって早く
犯人が見つかって
欲しいからね
それだけさ
おかしな事
って……
兄貴まで
よしてくれよ
俺には
他のタイトル戦の
準備もある
とにかく
この棋戦が終わるまで
おとなしくしていろ
いいな？
はいはい
分かって
ますって

昔から
兄貴には
逆らえないもんな……
ピピ、
ピピ、
ピピ、
……

羽仁兄いから…？
ピッ…
ピピッ
よろしいのですか？
ピピッ
ピ…
…いいのよ早く家へ
はい……お嬢様——

やっぱり
怪しいですよ
羽仁悟は！
横山刑事!!
どうして任意で
話を聞かないん
ですか!?
……これらは
あくまで
捜査への協力
という事でな
安岡さんからの
被害届は
まだ 出されて
いないんだ
え!?
大事な棋戦の
最中だし
協会の上のほうも
この件をあまり表に
出したくないらしい
……
でも
放ってはおけない
でしょう！

安岡先生の立場もある
今はこちらから無理強いは出来んよ
……そんな大人の事情はともかく
紫音さんのためにも一日も早く犯人を挙げるのが我々の仕事じゃないんですか？
羽仁悟氏に関しては現時点での最重要人物
引き続き出来る限りの情報を集める
横山さん！
!?
そのとおりだあたりまえだろ
すみません……こんな事までされて——
それでも戦っている紫音さんの事を思うと……俺……

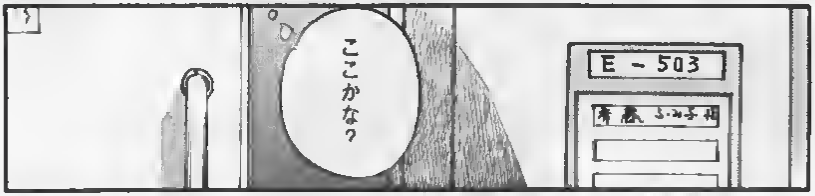
あの娘はな……
お前が考えているよりずっと強い心を持っているんだ
勝ちました！本戦に行けます!!
時には——

見守っている
こちらが
悲しくなる
ほど……
横山さん……
……
カチッ

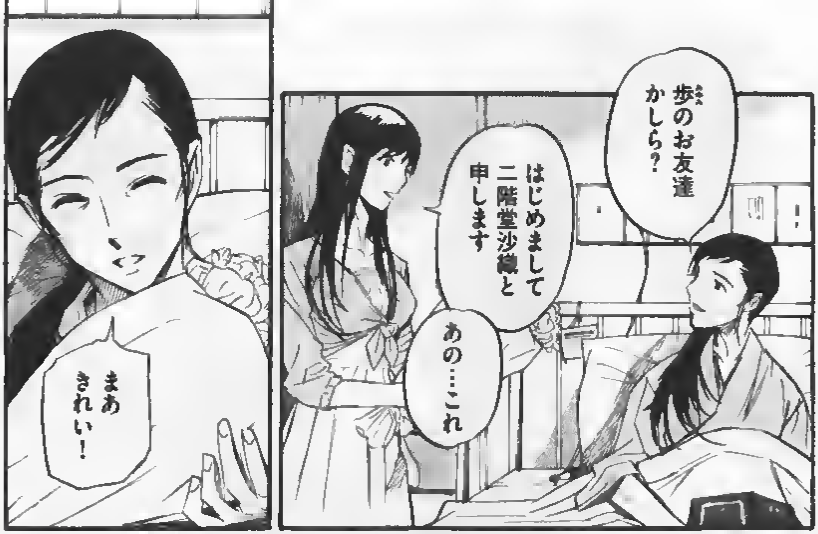
△9四角
疑問手
やっぱり
ソフトの解析では
疑問手なんだわ
いくら定跡を
研究していても
それを超えた所に
さらに好手がある…
だから
羽仁兄いは
指し続けろと
そうだ
昨夜のメール
でも あの局面では
絶妙の一手だった
……

羽仁兄いからメールなんて珍しいな……
ピッ
件名：見舞い
沙織へ。
今日は残念だったな。
トーナメントとは
実は有藤君のお母
総合病院に入院し
んだ。
え!?

斉藤さんのお母様って入院してたんだ
全然知らなかった
かわりにお見舞いするのはいいんだけど
羽仁兄いはどうして知ってたんだろ？


E－503
ここかな？

あの…
失礼します
はい？


歩のお友達かしら？
はじめまして 二階堂沙織と申します
あの…これ
まあきれい！

いいのかしら？こんなに素敵なお花をいただいちゃって
今日は私は代理なんです
その花束は羽仁名人からお母様に……

羽仁……
名人？
ええ 将棋の羽仁名人です

将棋の？
どうして
そんな方が
あたしにお花を？
え？

母さん
これ頼まれた
買い物
あと俺
天気があやしいから
屋上に行って洗濯物
取り込んで来るわ

歩……？
こちら
お友達の——

え？
二階堂……！
なぜ……
病室に――!?

第二十七話　終わり

第二十八手

指運。

……
よりによって
二階堂に
バレるとは

下手をすれば
この場で協会に
連絡……
それで――

すべて
終わりだ
……ふふっ
うふふふ
!!
ごめん
なさい
斉藤さんて
女の子の格好
似合うのね
可愛いから
すっかり
騙されてたわ

よしてくれ……
嫌味か？
あら？
本当よ
あなた目当てに
記録の当番日を
決めてる男の子も
いるんだから
ふん！
くだらない……
ゲイッ…
そう……
くだらない
わよね
女流棋士ってね
いつもそんな
くだらない目で
見られるの

あなたも
経験ない？
対局前の
男性棋士たちの
ナメた表情……
そして
負けた後の
恥辱を隠すような
照れ笑い——
強くなれば
煙たがられ
弱くても
愛敬があれば
可愛がられる
……
でも今度の
トーナメントは
違ったわ

あなたと紫雲ちゃんが実力で本戦入り
誰もが認める力の入ったいい将棋を指してたもの

二階堂もだよ……

初めて会った時とは別人……
もうお嬢様の将棋なんて言えないな……

……ありがとう
だけど私は予選落ち
悔しいけど本戦であなた達とは戦えない……

相手が名人じゃしようがないなんて言い訳する気はないわよ

誰であろうと
……か
それじゃあ
羽仁名人は
俺の正体を
知っても
その事を
問わないと？
それは
分からない
……
それに――
誰であろうと
強い者が
上へ行く……
それが
羽仁兄いの決めた
このトーナメントの
ただひとつのルール
だから……

協会の中に
あなたの存在を
認めない人が
必ずいるわ
……
上のほうの
理事達や
今まで
あなたに
負けた棋士
それに
女流や奨励会の
人達だって
どう思うか……
きっと……
斉藤さんが
考えているより
ずっと大きな
騒ぎになるわよ
もちろん
味方してくれる
棋士もいると
思う
ちゃんと
斉藤さんの
将棋を見て
いる人ならね
紫香ちゃんと
安岡先生……
羽仁名人の考えに
共感している何人かの
棋士やあなたの師匠の
神園九段
それに――

二階堂……
私も……かな？
あなたが女として将棋を指したのは
最初はただお金のため
だけどもうそれだけじゃない……

今のあなたを
見ていると
そう感じるの
違うかしら？
……
……さあな
もう俺にも
分からない
ただ……今まで
稼いだ対局料や
賞金は全部
使っちまったし

棋士としての
斉藤　歩は
いつか消えるしか
ないのさ……
本当に
あなたは
それでいいの？
お母様は
あなたがプロで
将棋を指してるの
ご存知ないのね
ん……ああ
全部秘密に
してるからな
グッ…

それじゃあ
驚かれるのも
無理ないわ
大きな花束
抱えて 突然
「名人からです」
なんて
……
好きなんだ

え?

花が好きなんだ
母さん……
すごく
喜んでたよ
そう……
良かった
お母様には
私はいいトコの
お嬢様で
羽仁名人にコネが
あるとでもお伝え
しておいて
はは……
そうさせて
もらうよ

お母様のご病気が治れば
女装をしてまでお金を稼ぐ必要はなくなるんでしょ？
退院はいつごろ？
あら すぐじゃない
医者が言うにはあと2ヵ月か3ヵ月……
あ……
あなたさえ良ければ今から羽仁兄いに相談してこれからの事を考えましょうよ！
いきなり皆にバレるより少しずつ味方を増やして——
いや……

俺の望みは
ひとつだけ
……
残された最後の時間
母さんを苦しませたり
悲しませたりせず
できる限り
そばにいて……
話をして
そして――
ただ
それだけ
なんだ……

協会が返せと
言うなら
金は働いて
いつか必ず返す
でも今の俺に
できる事は
ひとつしか
ない――
最後まで
女流棋士
斉藤　歩として……
このトーナメントを
勝ち抜く！

斉藤さん……

キィッ…
……なるほど
そうですか
じゃあ
その場で番号の
細工も可能って
事ですね？
いやいや
全部じゃ
ありませんよ
ほんの
ひとつかふたつ
……
僕の希望は
あとで送りますので
当日の手はずは
お任せします

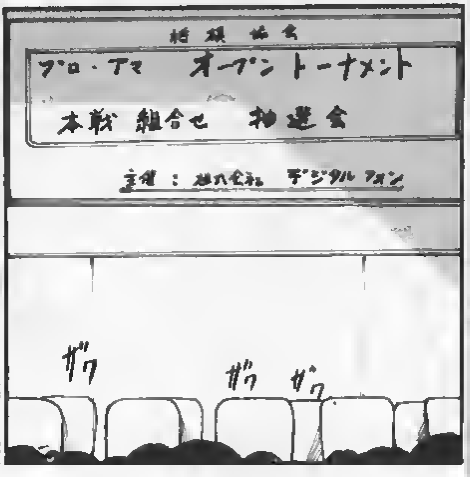
それと
こちらからの指示は
確認後ただちに
破棄する事
証拠は
残さないように
いえ……特に
問題あるわけじゃ
ないんですけどね
名人があまり
こういった事が
好きじゃない
みたいで

僕としては
トーナメントを
盛り上げたい
だけなのに……

読みの鋭い
兄貴を持つと
苦労しますよ
キイッ…
……まったく

余興……
そう……ほんの余興です

ザワザワ


将棋協会
プロ・アマ　オープントーナメント
本戦 組合せ　抽選会
主催：将棋会社　デジタルフォン
ザワ
ザワ　ザワ

ほお！
こりゃまた
随分と報道陣が
集まったもんだ
えへへへ
実はうちの社の
新製品発表会も
兼ねてるんです
代理店を通じて
雑誌やスポーツ紙に
記事にするよう声を
かけたんですよ
CMに起用した
アイドルも呼んだから
テレビもいくつか
来てますしね
予算は全部
悟さんの会社
持ちですけど……
歩の無い将棋は
負け将棋。♥
王将

……
将棋マスコミは
ともかくとして
こんなやり方で
この中の何社が
今後も取材に
来てくれるのか……
古田さん
棋士の皆さんも
お揃いですので
そろそろ……
ん？
ああ
そうだな

オホン！
本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます
ただいまより「オープントーナメント」本戦の組み合わせ抽選を始めさせていただきます
棋士控え室
たくさん取材が来てるみたいだなあ……
紫音はこういうの初めてだろ緊張してないか？
ん？
カチコチ!?
あたしは大丈夫だけど…

おい
どうした
しっかり
しろ 久谷!
何をそんなに硬くなってる
ま、まく
いや……
周りじゅうが格上の棋士ばかりですから俺なんか場違いじゃないかって……
馬鹿野郎!
ここまで来て格上も格下もあるかよ…
でも……
まもなく会場入りしていただきます
よろしくお願いします!
自分の力で本戦まで来たんだろ?
あとは気合だ気合!
気合……ですか

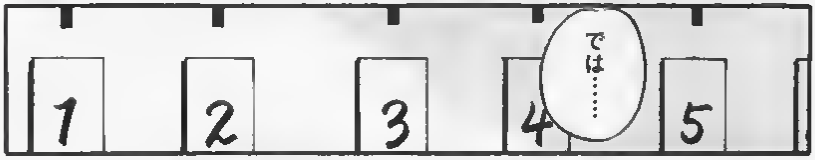
どうかしたのかな？
まさか……
……私は今でも羽仁兄いに相談したほうが良いと思ってる
でも斉藤さんが望まないならこれ以上お節介は焼かないから
沙織さんと歩くん――!?

私は誰にも
喋らない
だから
斉藤さんは
対局に集中して
グイッ
!?
二藤堂
……さん
約束するわ
……

どうした紫音？
行くぞ
はあ…
ハァ
ハァ
ほれ深呼吸しろ久谷！
斉藤さん
本戦でもいい将棋を見せてね

……ええ
壇上の棋士達……
彼らが本戦で頂点を目指す二十四名です
失礼 彼女ら……もですね
プロアマそして女流棋士と多彩な顔ぶれとなりました
まさに羽仁名人の提唱されている〝完全実力制〟にふさわしいと言えるのではないでしょうか
……

え――
抽選の方法ですが
こちらを
ご覧下さい――
この
二十四台の
携帯には
すでに組み合わせ
番号の書かれた
メールが送信されて
います
古田さん
宣伝宣伝！
うちの
新製品!!
棋士の皆さんには
順番に一台ずつ選び
受信したメールに
書かれた番号を
読み上げて
いただき
ます


1
2
3
4
5
では……

手前から順に
斉藤さん
お願いします

本戦まで
来ればもう
相手は誰でも
同じ！

将棋って
言うから
おっさんばかり
かと思ったら…
こんな可愛い
女の子も
出るのか

ピッ
斉藤歩
……13番
13
ウィーン
なんだよ
無愛想な
娘だな
せっかく絵に
なるのに……
いつもの
歩くんだ……
心配しなくて
大丈夫ね
え～～～……
斉藤さんは
女流の中でも
若手の実力派です
ぜひ本戦での
活躍にも
ご期待
下さい

チラッ
では
次に……
久谷君
ガタッ
は……
はい！
17
18
17番以後なら
決勝に進むまで
一戦少なくて
すむのか……
10
ピッ
10番——
しょっぱなから
運がない
やっぱり駄目か……
できれば
そこを
引きたい！

久谷君は奨励会からただ一人の本戦出場となります
プロ棋士を目指す仲間のためにもどうか応援を
……そうだ
今から弱気になって本戦で勝てるかよ…
久谷啓司三段！10番です!!
10
ポン！
師匠……
ようやくハラが据わったか？

次は
俺の番だ
そこで
見てろ
久谷……
すごい
緊張感だ……
ゴクリ
ここ押せば
いいの？
そうです
そこを
ビッと
お約束
……
パパ、はずかしい
……
レロリ
安岡信次
四十八歳
19番――！
濡れた……
19
……

次は最年少での
本戦出場
安岡紫音さんです
彼女は今
抽選を終えた
安岡八段の
娘さんでも
あります
……遂に
本戦まで来た
できれば
歩くんと同じ組には
なりたくないな……
指すなら
決勝で――
おい！
この娘だろ？
例の
あの事件の
そうそう
未解決の
夫婦惨殺事件！
小さい時
目の前でご両親を
殺されたって……
可愛いじゃない
こりゃ記事に
なりそうだな
……

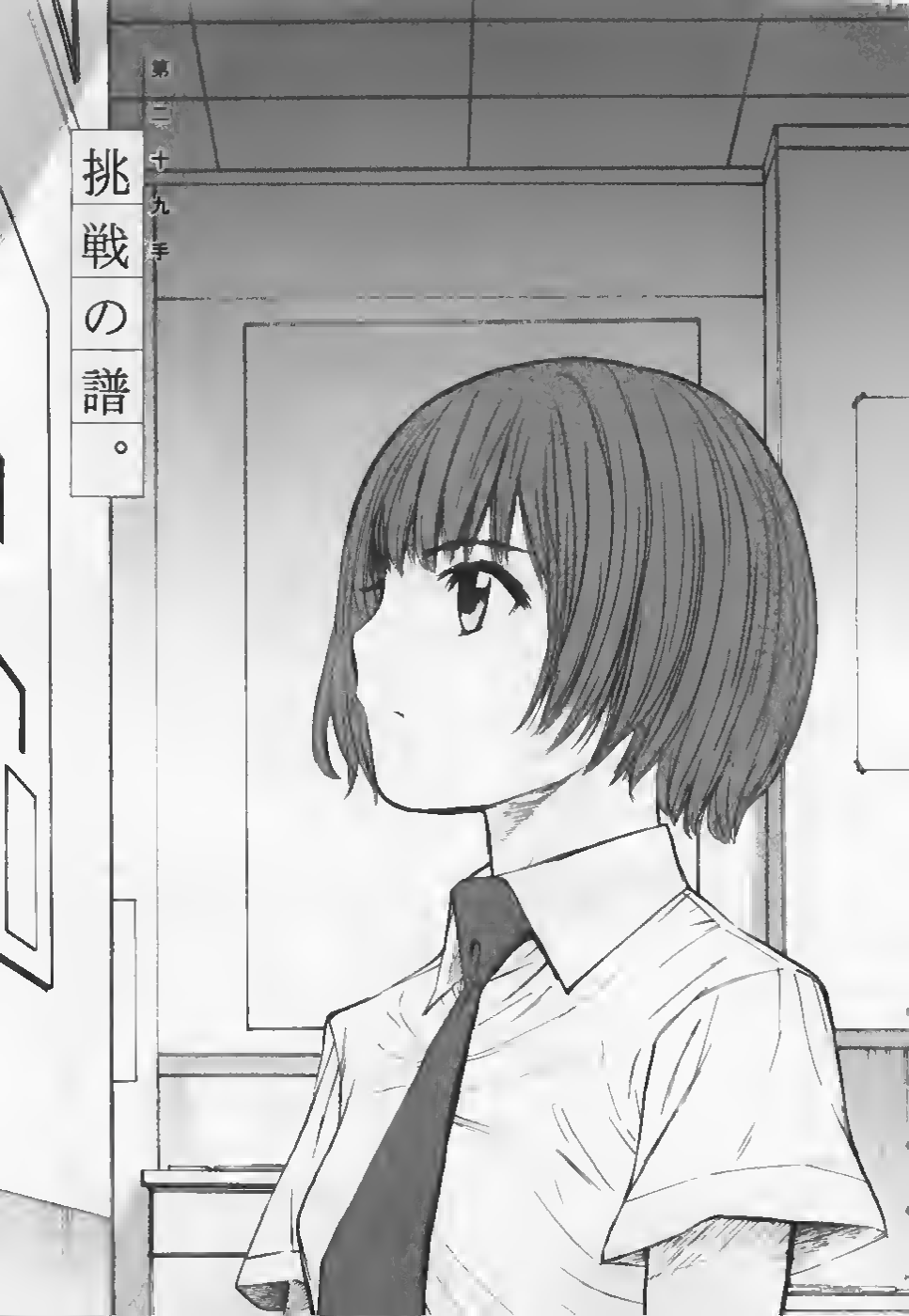
馬鹿！
声が
デカいんだよ
うっ……
いいぞ
紫音……
……

ドッ…
なんだ？固まってるぞ
番号は？何番ですかー
失礼……紫音は言葉が不自由なので　私が代読します
安岡……紫音

20番……
20
!!
……そんな

父娘対決か
こりゃ面白い！
安岡(栄)
安岡(信)
いるんだよなあ……
ん？
悲劇の似合う娘……ってのがさ——

紫音……
第二十八話 終わり


第二十九手
挑戦の譜。

……
安岡(妹)
安岡(兄)
……組み合わせというのは面白いですね
スッ
時々こういう偶然が起きる……

これが
偶然――？
いいえ……
こんな事で
心を折られたら
駄目！
さすがは
紫音さんだ
たとえ相手が
父親だろうと
いつもと変わらぬ
落ち着き……
ああ
そうか……
安岡先生と
紫音さんは
本当の親子じゃ
ないんでしたね
そんなふうに
平気で
いられるって事は
やっぱり――

お互い
愛情なんて
ないんでしょ？
それなら
潰し合っても
平気ってわけ
ですか……
実はね
僕も
子供の時に
両親を亡くして
いるんですよ

それからは
ずっと一人で
生きてきた
君もそうだろ？
周りに誰がいても
本当はいつでも
孤独……
あの夜から
君はずっと
ひとりぼっち
なんだね
紫音……

かわいそうな
紫音――

何してる!!
その娘から離れろ!
何もしちゃいないよ
昔話をしてただけさ……
ねえ紫音さん?

もしその娘に
何かあってみろ
……
お前を
許さない！
フッ…
おっかない
なあ
斉藤さんは
まるで男の子
みたいじゃ
ないか……

ハッ！
お互い本戦は頑張りましょう！
あいつ……
大丈夫かい？
ニコッ
!?
ブルブル
ブル

もう
いいんだ
ギュッ
平気
無理しなくて
いいんだよ
……
皆が君を
守って
いるから……
もちろん
俺だって
――
だけどあの人
どうして 君に
イジワルばかり
するんだ？
歩くん

……
似てた……
あの夜
見た指
聞いた
声――
棋士控え室
でも……どこか
違う気がする
どこかが……

紫音ちゃん
まさか初戦から
安岡先生と当たる
なんて……
どんな
気持ちだろう？
師匠で父親と
なんだ
沙織
来てたのか
羽仁兄い……
今日はやけに
マスコミが
多くてな
静かなのは
こことトイレ
くらいだ
あ……
斉藤さんの
お母様のお見舞い
昨日 行って
来ました
見舞い？
？
ええ
先日 メールで
羽仁兄いから
……

メール……
だが　なぜ
沙織に……
悟か――!?

あの
何か……
ん?

いや……
助かったよ
俺は時間を
取れそうに
なかったんでな

私　斉藤さんの
お母様が入院
されてるなんて
全然知らなくて
……
羽仁兄いは
どこで?

たしか……
協会のはうから
だと思うが
……
なんでだ?
いえ
羽仁兄いが
個人的な事に
干渉するなんて
珍しいので
斉藤さんの事も
特別 気にかけて
いるのかと……

俺は
お前達の世代
皆に期待してる
沙織も
また遊びに来い
いつでも一局
教えてやるぞ
ありがとう
ございます!

羽仁兄いは
女装を知ってて
私に行かせたわけじゃ
ないのか……
悟の奴……
また何か
企んでいるな
師匠……

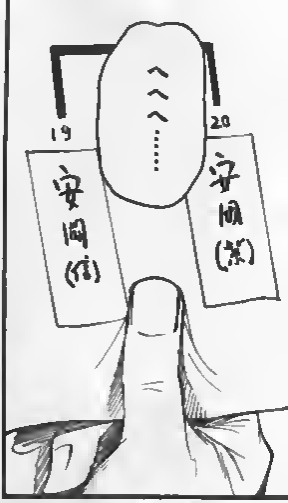
なんだ久谷
その顔は
……
そんなに
心配か？
でも……
俺より
紫音のとこへ
行ってやれ
紫音は……
きっと
大丈夫です
……
……
そうだな

棋士の娘だもんな
――本当の親子じゃないから
潰し合っても平気なのか……
愛情なんてないんでしょ？
違う！

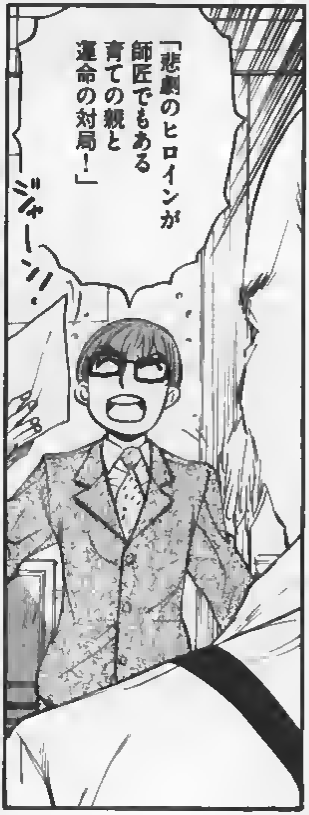
愛して
いるから……
本気で
戦えるんだ！

紫音……

どうした
紫音？
そんなに
怖い顔をして
まだ
対局前だろ
いつものように
笑って
くれないか？
ギュッ…


へへへ……
19
安岡(代)
20
安岡(米)

嬉しそうですね
そりゃあそうですよ
こんな美味しい組み合わせないでしょ？


「悲劇のヒロインが師匠でもある育ての親と運命の対局！」
ジャーン!!

主催者としては笑いが止まりませんよ
エヘヘ…

将棋はきっと紫音さんの勝ちでしょうしね——
この先の事を考えると女の子が残るのはありがたい

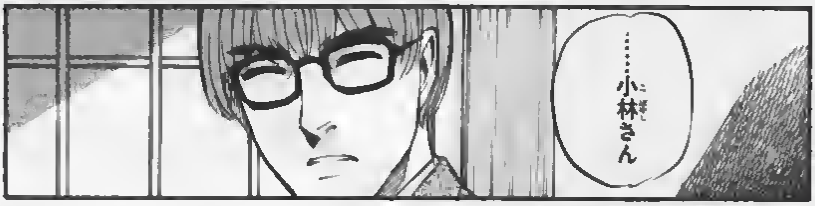
勝負の行方はまだ分からないでしょう……
安岡先生だけじゃない……紫音さんにも失礼ですよ
この状況で娘を相手に本気で戦う父親なんているわけないじゃないですかあ！
安岡先生もここは紫音さんに花を持たせますって
あんた本気でそう思ってるのか？
本当に安岡八段が手を緩めると……

いや……
紫音さんに
とっては
初めての大きな
チャンスですし
安岡先生には
たくさんある
棋戦のたった一局
ですから……
そういう事も
あるかなーと
たった一局……か
たった一局
でもな……
棋譜は
永久に
残るんだよ

安岡紫音という
棋士が
これから先どんな
将棋を指そうとも
その棋譜が
ある限り
こう言われ
続ける……
あの一局は
父親が相手だから
勝たせてもらったんだと――
分かるか……？
……
棋譜は
棋士達の
生きた証……

娘に
そんな十字架を
背負わせる父親が
いったいどこに
いるって
言うんだ？

……


……小林さん

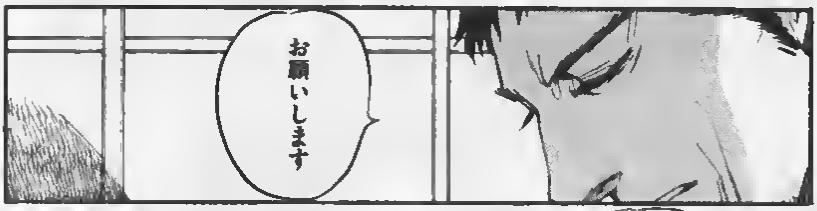
このトーナメントであんたが何をしようと勝手だよ

ただし……

これ以上将棋をなめるな

名人……
俺の先番……

よろしく
お願いします


お願いします

穴熊を警戒
してるから
無理はして
こないはずだ
俺もここは
じっくり
指すか——
パチッ

今まで何十局……
いや何百局も
紫音とは
指してきた……
紫音の性格なら
序盤は必ず
慎重な将棋になる

ドッ!!
初手から
この気迫
そうだったな
これは
紫音と俺の
初めての戦い……
紫音の
その目を見て
分かったよ……

俺は……
幸せな父親だ
第二十九話 終わり

第三十手

時の答え。

8年か……

パイ…

パチッ…
8年……

……意外と静かな序盤になったなあ
なんだか拍子抜けですよ
もっと骨肉の争い！みたいな事になるかと思ってたのに……
名人があんなに怖い顔するから～
初めての父娘公式対局
我々には知れない思いもあるでしょう
特に安岡八段には……
ﾊﾟｶｯ!

やはり△同飛
紫音なら
そう指す……
読みどおりだ
ならば
俺は――
バチッ
▲5五歩!?
読みが
外れてる
いいえ
あたしの将棋を
知ってる
お父さんだから
外されてる!

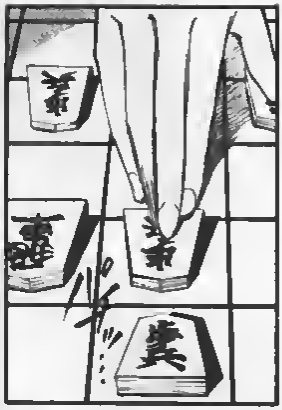
この勝負は
8年前から
もう始まって
いたんだ……
紫音ちゃん
どうですか？
ああ
二階堂さん
やはり
安岡先生が
一枚上手と
言うか

紫音ちゃんの飛車――
何故(なぜ)△8五(はちご)に!?
それが……
振り飛車のほうから急戦で仕掛けたんですが
安岡先生に手を読まれジワジワと追い込まれて
抗っ!
逆に飛車を殺されてしまったんです!
ここまで身近な相手だとさすがに指しづらそうですね
もちろん　それは安岡先生も同じでしょうけれど……
……

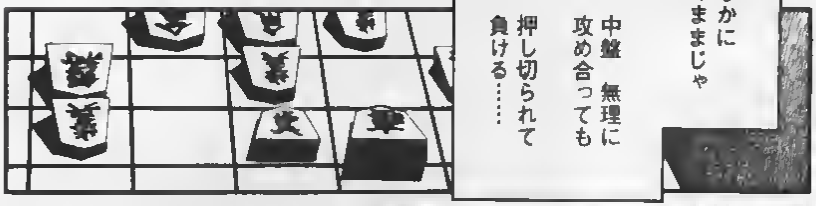
飛車
ごめんね……

気持ちが表情に出ているぞ
さっきの気迫はどうした？

△7五歩
甘い手だ
崩されると脆いのも変わってない……



紫音……
お前は
このトーナメントで
何も成長しなかった
のか!?
お父さんが
怒ってる……
珍しいな
きっと
あたしが今までと
同じ将棋を
指しているから……


たしかに
今のままじゃ
中盤 無理に
攻め合っても
押し切られて
負ける……

そうだ——
今までと
同じじゃ
負けちゃうんだ！

今のあたしが
お父さんに
勝てるところ
上手さでもない
もちろん
経験でもない
たぶん
たったひとつ……

読みの速さ――!!
コツコツ
……
紫音ちゃんハシ攻めにこだわってますね
ソッ…
いつもの中盤よりやけに早指しだし……
そうですねえ

やっぱり紫音のほうが悪いか……
師匠に手の内を全部知られているからなあ
久谷さん！
紫音ちゃんと安岡先生の対局が気になるのは分かりますがあなたも代表としてトーナメントを戦っている一人……
うっ…
ご自分の対局を放り出してうろちょろ覗きに来るというのは
棋士としていかがなものかしら？
はい！
棋士として……
怖ぇ～～～……

今は全力で
頑張らなきゃ
駄目だよ……
久谷くん！
意外と
あっさり
飛車角交換を
許したな
何か策が
あるのか……
△9八歩成で
王の守りを
崩せる……
勝負は
終盤！

……いい音だ
この音だけは変わらない

8年前からずっと……

パシン
おお――
いい音だねえ
紫音ちゃん
えへへ
駒の音
好きなの
かい？
うん
好き!!
幸子！
紫音ちゃんは
今夜うちで
ごはん食べて
いくのか？
ええ
石渡さん　お忙しい
みたいだから
じゃあレッスンの
ついでにって

じゃあ
晩ごはんまで
将棋指して
みよっか？
うん
さす！
さす！
ちょっとあなた
よして下さいよ
せっかく
ピアノを習いに来て
覚えて帰ったのが
将棋だった
なんて……
おとなりの
石渡さんに
なんて言えば
いいんです？
別に
悪い事じゃ
ないだろ？
紫音ちゃんは
ピアノも
頑張るもんね——
えへへ…
がんばり
ます
駒の並べ方と
動かし方は
分かるよね？
うん
こないだ
おそわったから

じゃーん！
王将
おじさんは
これで
戦います
王様
ひとりぼっちで？
紫音ちゃんは
工夫して
おじさんの王を
やっつけて下さい
空チェス
おじさんは
強いので
頑張らないと
倒せませんよ
おー！
では
よろしく
お願いします
……します
ペコ

……ぐすん
ぐすん
ぐすん……
うっ…
うっ…
ヒック
ヒック
ヒック…
なんですか
子供相手に
本気で……
子供だからって
手を抜くほうが
失礼だろ？

でも　あの娘
ちゃんと指すの
初めてなん
でしょう？
ああ……
たいした
もんだよ
見ろよ
あんなに
悔しがって
案外
将棋指しに
向いてるのかも
しれんぞ
安岡の
おじさん……
んん
なんだい？
ぐすん
ぐすん
ぐすん
ヒック
ヒック
ヒック
しおんは
もっと強く
なれますか？

この子の才能……本物かもしれない
そんなに将棋が好きならきっと強くなれるよ
そのためにはもっと勉強しないとね
はい！
そうだ！おうちでも将棋を指せるようきっとサンタさんが紫音ちゃんにも駒と盤をプレゼントしてくれるぞ
ほんとに!?
あ……ああサンタさんにお願いしてみよう
本つげの駒に七寸盤…
ヒソヒソ
頑張って稼がなきゃねサンタさん
えへへ～
これとおんなじのがいいです！
パッチン！いい音！

なあに
かえって
やる気が
出るさ
あの子の
笑顔が
見られるなら
パッチン!
あなた……
やっぱり子供が
欲しかった?
それは
別の話だろ
俺は
あの子の
笑い声が
好きなんだ
だから
幸せになって
ほしい……
幸せに——

……
……紫音
父さんは
紫音を幸せに
できたのかな？

最初は
王様だけ
だった……
負けた
紫音が
大泣きしてなあ
ふふ……
それが
今では
こうして
平手で
指してる
お父さんも
覚えてたんだ……
あの日の
初めての
対局の事

あたしも
少しずつ
思い出して
いるの？
8年前（あのとき）の事を——
パチッ
王将
……
今のは
同王の一手
ですよね
どうして
安岡先生は
こんなに
時間をかけて……

序盤から
こんなふうに
安岡先生の
手が止まる事が
あるんですよ
何かの作戦
なのか……
おそらく
残りの持ち時間は
紫音さんのほうが
かなり
多いはずです

安岡八段は
終盤に
持ち時間が
切れるかも……

……局面は
意外と難解
このまま終盤の
読み合いになれば
安岡先生でも
秒読みは厳しい
流れの中で見えた
一瞬のチャンスを
紫音ちゃんが
逃さなければ――

……敵の王には
近づけたけど
でも
まだ届かない
あと一歩が……
☖7四香は？
☗7五歩……
☖同馬？
☖同香？
この展開
なら――！
紫音が
胸のペンダントに
ふれた……
何かいい手を
見つけたな
あとは
時間……

秒読みになった時
俺が紫音のスピードに勝てるか……
秒読みに入れば一手1分……そうなると紫音さん有利ですかね
だけど師匠の終盤も渋いですよ
そう簡単には寄せさせないでしょう
……やはり勝負は終盤ですか

久谷君
駄目だって！
また
沙綾さんに
どやされ
ますよ！
いや
俺……
勝ちました！
!!
おおっ!!
そうか
勝ったか！
ほら
二階堂さん！
久谷君
勝ったそうですよ！
あ……あら
おめでとう
ございます
でもまだ
次がありますから
ええ……

次は
羽仁名人と
対局なんです
!?
羽仁兄い
と……

うん！
やっと
戦えるんだ
名人と……

あのお
……
対局
進んでますよ
おとりこみ中ですが…

かえって難しく
なったんじゃ……
ですね
師匠らしく
ないな

▲7六香？

安岡先生……
持ち時間を
使い切って
もう秒読みに
入ってますよ!!
自信を持って
指した手に
見えた……
秒読みに入っても
今までと
変わらない
落ち着き
でも——
7六香

駒台の上が
あんなに
乱れてる！
やっぱり
この局面での
秒読みは
厳しいんだ

こちらの
時間は十分——
やれる!!

時間的に有利って言っても
紫音さん攻められてるじゃないですか
だけど的確に師匠の攻撃をかわしてますからね
しかも最短の時間で……
最短……って紫音さん!?
なんでそんな危ない事してるんですか～～～
秒読みに入った師匠が一手に使える時間は1分だけ
紫音が早く指せば指すほど相手が次の手を考える時間も削れるって事ですよ

だけど
師匠の攻めも
厳しいですから
ね
紫音が
一手でも
間違えれば……
うっ!!

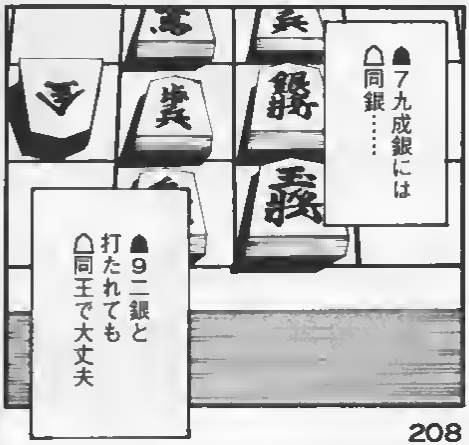
……でも
紫音ちゃんの王
一手指すごとに
堅くなってませんか?
え?
?

この攻防の中
紫音ちゃんが
そこまで読んで
指しているとしたら……
……

……終盤での
冷静な判断
正確な受け
そして
何より
読みの速さ……
紫音は
最初から
この展開を
狙っていたのか？
ふっ
どうやら
成長して
いなかったのは
俺のほう
らしいな……

紫音は――
俺が考えていた
以上に
強くなっている!!

……


▲7九成銀には
△同銀……
▲9二銀と
打たれても
△同王で大丈夫

紫音さん
この一手は
ずいぶん
時間をかけて
ますね
……
こちらの王が
詰まないなら
先に詰めろを
かければ——
ソッ…

勝てる！
凄
△6五桂
いい手だ
きっと
この時を
待っていた
一手……！

紫音さんには
まだ時間も
あるし
このまま寄せに
行くか……
師匠の
正念場ですね
ここから
一手1分で
どこまで
読めるか
ノータイムで
▲8七金!?
▲6七金なら
まだ粘れるのに
あきらめて
投了の
形作りに
入ったのか!?
ゴクリ
このまま
詰むんですか
ね……?
詰みますよ
!?

しおんの王⑤ 終わり

対局CHECK!

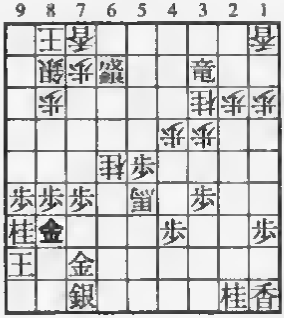
棋譜・解説　かとりまさる

（第1図は ☖6五桂まで）

☗先手 安岡八段 持駒 金銀

☖先手 安岡紫音五 持駒 角角香五

（第2図は ☖8七金寄まで）



☗先手 安岡八段 持駒 金銀

☖先手 安岡紫音五 持駒 角角香五

本戦の一局めは親子対決。難しい勝負にどう挑む!?

師匠と弟子との対局であり、紫音と安岡は親子対決、にもなるのですが、精神的に楽な気持ちで指せるのは紫音のほうでしょう。

女流、しかも弟子に負けたとなると、「女に負けた」と言われるのが勝負の世界です。

対等に戦って負けるのは恥だと感じるプレッシャーはかなりのものです。しかも、今回は可愛い紫音が相手。

負けると泣く紫音。クッキーを作って、安岡の顔を嬉しそうにのぞく紫音。いろんな紫音を知りすぎている安岡ですが、今日ばかりは負けて終わらせるわけにはいきません。

全力で安岡にぶつかってくる紫音の指し手は嬉しい事ですが、紫音と戦う迷いを消すため、精神統一に時間をかける安岡。

さて、いろんな想いを心に秘めながら進んできた終盤戦。プロになってくると、強いほうが勝つのではなく、油断したほうが負けるということを知りつつ駒を進めます（第1図）。

盤上だけを見つめ、安岡の王をしとめようとする紫音は☖6五桂と指しました。

紫音は、勝てると思ってこの手を指し、負けないと思った安岡は☗8七金と寄ります。

紫音の王は、一見詰まないようにも見えますが、難しい終盤です。

三段以上の実力の方は、ゆっくりお考え下さい。初段以下の方は、紫音の可愛い顔だけを見て投了しましょう！

※おまけアドバイス■将棋が強くなりたかったら詰め将棋の問題をいっぱい解くと、終盤の力が上がります。

次巻予告

トーナメントの勝敗の行方は!?
紫音を狙う悪意は!?
緊迫いや増す次巻⑥巻にご期待下さい!

「しおんの王」第5巻は、アフタヌーンの'06年5月号から10月号に掲載された作品を収録しました。

編集部では、この作品に対する皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

また、今後「アフタヌーンKC」にまとめてほしい作品がありましたら編集部までお知らせください。

※なお、お送りいただいたお手紙・おハガキは、ご記入いただいた個人情報を含めて著者にお渡しすることがありますので、あらかじめご了解のうえ、お送りください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
〈郵便番号 一一二―八〇〇一〉
講談社「アフタヌーン」編集部
アフタヌーンKC係

N.D.C. 726　214p　19cm

アフタヌーンKC―445

しおんの王 5

二〇〇七年五月二十三日　第一刷発行
〈定価はカバーに表示してあります〉

著者　かとりまさる
安藤慈朗
発行者　五十嵐隆夫
発行所　株式会社講談社
東京都文京区音羽二―一二　一―八〇〇一
郵便番号
電話　編集部　東京〇三―五九五―二四六一
販売部　東京〇三―五三九五―三六〇八

印刷所　共同印刷株式会社
本文製版所　豊国印刷株式会社
製本所　誠和製本株式会社

© Masaru Katori・Jiro Ando 2007
〈本書の無断複写（コピー）は著作権法上での例外を除き、禁じられています。〉

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えいたします〈電話03-5395-3615〉。なお、この本についてのお問い合わせはアフタヌーン編集部宛にお願いいたします。

ISBN978-4-06-314445-1　Printed in Japan